

さあ、背中を伸ばして気持ちよく行きましょう！

株式会社 **ミヤハラ**  
〒192-0073 八王子市寺町 6  
TEL 042-625-6563

読んで気持ちがホットなる

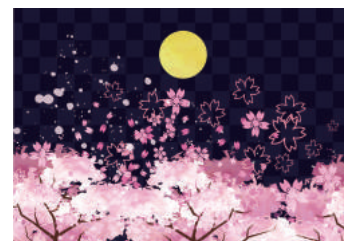
マンスリー

と  
ホット

情報

2021.4月号  
NO.433

春分の日も過ぎ桜の便りも聞こえてきますが、コロナ禍の状況は相変わらず厳しく不自由な暮らしを強いられている方も多いと存じます。4月からはワクチンの接種も始まり、感染者が減り安心して過ごせる日々が来ることを願っています。…富士森公園の夜桜も楽しみたいです… 宮原 隆夫



## 八王子の素敵なお店をご紹介します

# はちさんぽ 第103回



和洋酒販売店 加柵屋 さん

### 日本酒と真摯に向き合う数少ない酒屋

あいつに会うのは中学生以来だな…。そんな事を思いつつお店の扉を明けました。彼の代で三代目になる『加柵屋』さんは昭和8年創業。店長の久下君曰く『昔、この辺りは大善寺の参道だったんだよ』と教えてくれました。ずいぶん前からスーパーやディスカウントストアでも、ほとんどの種類のお酒が手に入るようになりました。『今の売り方では商売をやっていけない。』そう思った彼は、日本全国の酒蔵を尋ね、直接取引をお願いして回ります。『小さくても、酒造りを共感できて、自分が自信をもって紹介できる蔵元と縁をつなぎたい！』そう思って手をつないだ蔵元13社程の商品を取り揃えます。私も時々日本酒を呑みますが、今まで見たことのないラベルの一合瓶が並んでいます。ネット販売にも力を注ぎ、自社HPで取引している蔵元の詳細や代表の意気込みなどを紹介しています。大阪で培った営業経験が彼の店づくりに大いに役立っています。数年前から陶芸も始めた久下君、ぐい飲みばかりを作って、時にはお得意様に送ったりしています。コロナが明けたら一度ゆっくり杯を傾けながら、彼の日本酒論をじっくり聞いてみたいです♪



すっきりした店内は今まで見たことない銘柄の日本酒が並びます。中には英字の日本酒も…。



実はこの2人、中学の同級生。互いに刺激しあいながら個店を盛り上げたよね！



有名な日本酒『而今(じこん)』も取扱ってマス！ただし、人気銘柄なので抽選販売！



久下くんが惚れて繋がった酒蔵の日本酒たち。

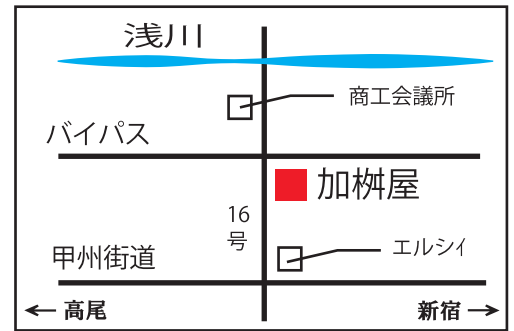
お店詳細は裏面へ



## 和洋酒販売 加柁屋

八王子市大横町 3-10  
TEL：042-624-1138

9:30 ~ 18:30  
水曜 及び  
第一・第三火曜日 定休



## わたしのイチオシ

桜の季節になりましたが、私只今花粉症の真っ最中です。  
窓は開けない。洗濯物は外に干さない。上着は玄関で脱ぎ、そして空気清浄機をフル回転の毎日です。外へ出るときは自転車で欠かせないのがサングラス！！とても良く花粉を防いでくれます。



宮原 富江

## ちょっとお耳を

西洋に『人は〇〇の数だけ幸せになれる』という古いことわざがあります。さて、この〇〇に入る二文字は？ヒント1、今までの人生で何度もやっていることです。ヒント2、ひとりではできません。ヒント3、誰かと楽しく会っている時やお祝い事があったときにこれをします。もうお分かりですね、そう、答えは『乾杯』。ある時は友との再会を喜び、ある時は愛する人という幸せを演出し。ある時は仲間と喜びを分かち合う。こんなすばらしいこと、他にはなかなかありません。言い方はちがっても、『乾杯』という文化が世界中にある理由がわかりますね！

## あとがき

今回の『はちさんぽ』は同級生の久下君！中学2年の時は同じクラスで机を並べたこともあります。前々から知ってはいたのですが、なんとなく照れくさくて取材を躊躇していました。話を聞いているうちに、彼のお酒に対する考え方を通じて、人との関わり方も伝わってきました。売っているのはお酒ですが、彼の向こう側には会ったことのない作り手がいて、その人たちに代わり、久下君が酒蔵の魂も一緒に届ける担い手になっています。それぞれに込められたお酒のストーリーも一緒に味わえるようです。同じ八王子で頑張っている同級生、こちらも頑張らねば！と新たな元気をもらいました。

・・・コロナの余波にまだまだ予断を許せない日々が続きます。どうぞお気をつけて！